

感染症週報〔市内週報 平成24年第26週〕

結核・感染症発生動向調査

平成24年7月3日

平成24年第26週感染症発生状況【川崎市内】

平成24年6月25日～7月1日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届出	累計(平成24年第1週以降)
<p>第26週で患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 水痘でした。</p> <p>感染性胃腸炎は定点当たり8.24人と前週(9.18)より患者報告数は減少しましたが例年を超える報告が続いており、平成11年のデータ収集開始以来、過去同時期と比較して最多の報告が第21週以降6週連続で続いています。</p> <p>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.33人と前週(2.70)より患者報告数がやや減少していますが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。</p> <p>腸チフスの届出が1件(推定感染経路: 経口感染、推定感染地域: 川崎市)ありました。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 5件	結核 211件
	3類感染症	腸チフス 1件	細菌性赤痢 1件、腸チフス 2件 腸管出血性大腸菌感染症 3件
	4類感染症	なし	E型肝炎 1件、デング熱 2件 マラリア 1件、レジオネラ症 4件
	5類感染症	風しん 1件	アメーバ赤痢 5件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 後天性免疫不全症候群 4件、梅毒 5件 破傷風 1件、風しん 7件、麻疹 1件



